

# 憧れだった警察官の道へ。

# 愛知淑徳での日々が、 走り続ける原動力。

## 警察官のキャリアを重ねる、 その原点にある淑徳魂。

小学生の頃から刑事ドラマが大好きで「警察官ってかっこいい！私もなりたい！」と憧れていました。でも当時の私は内向的で自信がないタイプ。そんな自分の殻を破り、夢を実現できたのは、愛知淑徳のおかげだと感謝しています。中高6年間、生徒一人ひとりの主体性を尊重してくださる先生方のもと、文武両道ののびやかな毎日をごしました。個性豊かな仲間と共に、勉強や剣道部の活動、学校行事などすべてに全力を注いだからこそ、強い自分になれたと思います。かけがえのない学園生活で得た力、人との絆が、私の人生の土台になっています。

愛知淑徳での一番の思い出は、高校の学園祭です。クラスメイトと団結してミュー

ジカルや演劇を創り上げました。目標に向かって本気で意見をぶつけ合い、それぞれの持ち味を生かし合ったことで、対話力、協調性、実行力などが磨かれました。そうした経験が今、多様な人と向き合う警察官の仕事にも役立つと感じています。

## 人々の笑顔を守るため、 挑み、学び続ける日々。

大学卒業後、愛知県警察に採用され、晴れて警察官として歩み始めました。警察学校卒業後にはまず警察署へ。地域課での交番勤務、警察本部警務部での人事業務などを経て、5年目に念願の刑事課に配属されました。担当したのは、強盗や強制わいせつなどの事件です。被害を受けた女性から状況を聞くと、安心して話せるよう気持ちに寄り添うことを心掛け、女性警察官の存在

意義を実感しました。誰かの力になる、地域の安全・安心を守る、使命感に満ちた職務を遂行し、「警察官ってかっこいい！」という幼い頃の思いをより強くしています。

また、結婚後は2児を出産して育児休業を取得。愛知県警察の充実した支援制度を活用し、5年前に職場復帰を果たしました。当初は仕事と子育ての両立に苦戦しましたが、乗り越えられたのは、私と同じような状況で頑張っている愛知淑徳の友人たちのおかげです。辛い気持ちを分かち合い、「頑張ることができることを一つずつ積み重ねていこう」と奮起。そして昨年、昇級試験を突破して警部補になり、再び刑事課に異動できました。愛知淑徳で学ぶ学生・生徒の皆さんも、何事にも全力を注ぎ、楽しんでください。その経験が将来の仕事や人生の支えになります。私も今後も挑み、学び続けて初志を貫きたいと思います。



心身ともに厳しく鍛えられた警察学校。卒業後は熱田警察署に配属され、交番勤務から警察官としての一歩を踏み出しました。



「やまんば」を題材に、脚本も衣装もメイクも本格的に取り組んだ学園祭の演劇。見事優勝できたことは一生の思い出です。

愛知県警察  
警察官(警部補)

## 上村 優さん(旧姓:吉野)

愛知淑徳高等学校を2003年3月に卒業。南山大学法学部を卒業後、愛知県警察へ。県内各地の警察署や警察本部で多様な業務を経験し、現在は刑事課刑事総務係に所属。2児の母として仕事と家庭の両立にも奮闘中。